



相



CONTENTS

○地域包括ケア病床を増床	p2
●マタニティプラン	p3
○救急救命士病院実習	p3
●新入職員インタビュー	p4
○サンタクロースがやってきた	p4
●訪問看護ステーション	p5

地域包括ケア病床を増床

地域包括ケア病床を増床しました

当院では令和8年1月1日より地域包括ケア病床21床→32床へ増床いたしました。

地域包括ケア病床とは

- ①急性期治療を経過した患者の受け入れ
- ②在宅で療養を行っている患者等の受け入れ（ご家族の介護負担軽減）
- ③在宅復帰支援

この3つの役割を担う病棟です。

いわば、急性期病棟と在宅療養の間に位置する「中間的な病棟」といえます。

加速する高齢化に伴い、医療と介護のニーズを併せ持つ患者さんが増加しています。こうした患者さんに対して、状態に応じた適切な医療・介護サービスを切れ目なく提供していくことが求められています。急性期治療を終えた患者さんを受け入れ、元の場所に帰るためのリビリテーションや療養支援を提供する一方で、在宅療養中の患者さんの急変時やご家族の介護負担が大きい場合などに、短期間の入院受け入れを行い、医師や看護師、リハビリテーション専門職、ソーシャルワーカーなどの多職種によるチームで協力し、患者さんの状態に合わせた最適な治療・ケアを提供することで、在宅療養を支えてまいります。

このたび、**32床に増床**したこと、加速する高齢化においても、多様化するニーズに幅広くお応えできるようになりました。患者さんやご家族が安心して過ごせる環境を整え、**その人らしく生活し続けることができるよう**に支援させていただきます。そして、住み慣れた地域で安心してサービスを受けることができるよう、地域に根ざした病院としての役割を果たして参ります。



調布病院地域包括ケア病床

～住み慣れた場所で暮らし続けるサポートします～



ご案内します！

昨年10月から始まった マタニティプラン(2,200円)が好評頂いています

マタニティプラン



マタニティプラン 2,200円(税込)

※1入院あたり(税抜:2,000円)

衣類

- ・マタニティウェア

タオル類

- ・バスタオル
- ・フェイスタオル

サービス品

- ・ティッシュ
- ・コップ
- ・歯ブラシ
- ・歯磨き粉
- ・リンスインシャンプー
- ・ボディソープ



少しでも負担を減らすお手伝いができるばとのスタッフの想いから生まれたサービスです。

マタニティウェア、タオル類は毎日交換できるので、常に清潔なものをサブスク感覚でご使用頂け、さらに上記サービス品もご提供いたします。ご希望があれば予約もできます。手続きは受付にて受け賜わっております。

入院の荷物も減らせ、洗濯の手間も省け、心にゆとりも生まれます。ご興味ある方は産婦人科スタッフまでお問合せください。

救急救命士病院実習感想

2階病棟 赤瀬

当院では、救急医療に関連した知識の応用と救命処置に関わる技能の習得を主体とする目的で、毎年救命士の実習を受け入れています。

病院搬送後の状況を知りたいと思っていらっしゃる救命士が多くいたため、今年は主に救急車受け入れからの医療や看護を実習していただきました。実際に見て感じて行動することができ、充実した実習になったと感想をいただいています。

今後も希望に添える実習病院であり続け、お互いの良好な関係を構築することでより一層の地域貢献ができるよう努めていきたいと思います。

救急救命士
実習室



救急救命士病院実習



看護師 長谷部 日菜さん

①ご出身は?

東京都出身です。東京都の中でも落ち着いた田舎の方に住んでいます。

②看護師を目指した理由は?

身近な人が入院したことをきっかけに、人助けのできる職業に興味を持ち、看護師を目指すようになりました。

管理栄養士 真砂 知江さん

①ご出身は?

調布市。

②管理栄養士を目指した理由は?

食に興味があったからです。

③最近のマイブームは何ですか?

米こうじを作っています(塩こうじ、コンソメこうじなど)。

③最近のマイブームは

何ですか?

登山です。小さな山から大きな山まで登っています。休日には自然が豊かな場所に行ってリフレッシュしています。

④患者さんへ向けて一言お願いします!

患者さんの笑顔に支えられながら、寄り添える看護師として成長できるよう日々精進してまいります。



④患者さんへ向けて

一言お願いします!

食事について困ったこと
があったら、声をかけて
ください。



サンタクロースが笑顔を届けにやってきた!

入院生活の中で季節を感じ少しでも明るい気持ちになっていただけるよう、そんな想いをこめて、サンタクロースに扮した看護職員たちがハンドベルやマラカスを手に、患者さんのベッドサイドや外来を訪問させていただきました。演奏曲は♪ジングルベルと♪きよしこの夜です。



病院エントランスでの演奏風景

受診やご面会に来られた方々にもご覧になっていただきました。皆様から温かい手拍子と笑顔をたくさんいただき、胸が熱くなり、また写真や動画撮影をされる方もいらっしゃり、とても素敵な時間でした。



病室での演奏風景

普段、あまりお話されない患者さんが♪き～よ～し、こ～のよ～ると一緒に歌って下さり、びっくりするほどの美声に驚きました。音楽には不思議な力があると思いました。演奏については練習不足は否めませんが、ご覧いただいた方々の笑顔から想いは伝わったと感じます。



このハンドベルの優しい音色は患者さん、来院されていたご家族、そして職員にとっても、ホッと心が和らぐ大切なひとときをくれました。



ご紹介します！



訪問看護ステーション

私たち調布訪問看護ステーションは、「住み慣れた我が家で安心して暮らしたい」という思いに寄り添い、医療と生活をつなぐサポートを行っています。病気や障がいがあっても、その人らしい日常を続けられるよう、看護師とリハビリ専門職がご自宅に伺い、心と体のケアをお届けします。

看護師によるサービスでは、体調の観察や医療処置、服薬管理、点滴・カテーテルの管理などを行い、ご本人とご家族の不安に丁寧に対応します。慢性疾患をお持ちの方、退院直後で体調が不安定な方、終末期を自宅で過ごしたい方など、幅広いニーズに対応可能です。

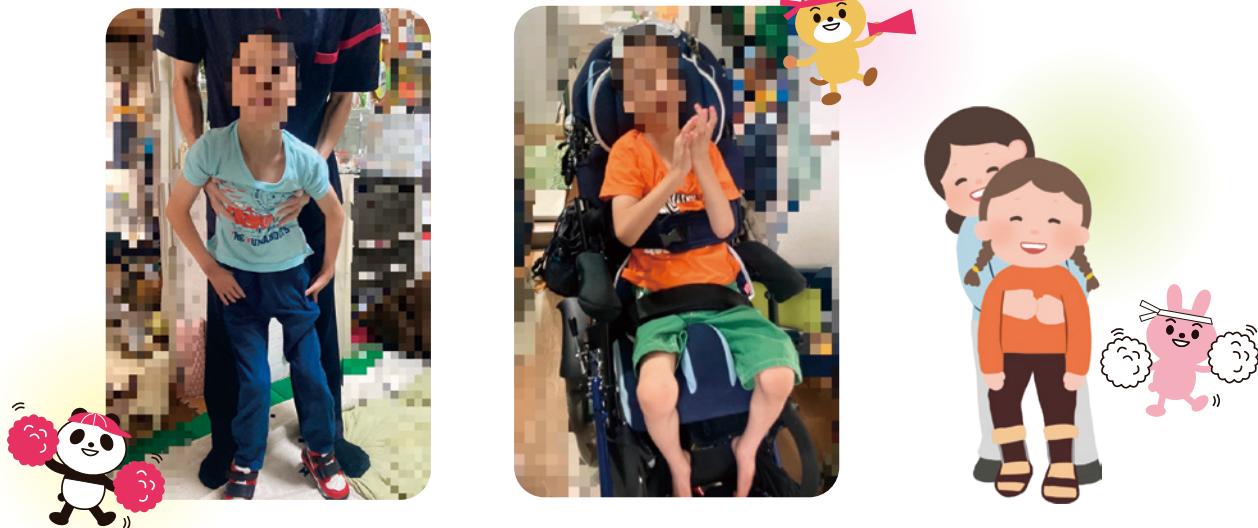
当ステーションの特徴は、リハビリに力を入れていることです。理学療法士が訪問し、ご本人の状態に合わせて筋力強化や歩行訓練、関節の動きを保つ運動を行い、できることを増やしていきます。**「もう一度自分の足で歩きたい」**

「自分で食事や入浴をしたい」という願いを実現できるようサポートいたします。また、呼吸リハビリも取り入れ、生活の質を高めることを目指しています。



さらに小児の訪問リハビリにも対応しています。発達の遅れや運動のつまずき、脳性まひや先天性疾患などを抱えるお子さまに対し、成長段階に合わせた関わりを行います。遊びを取り入れながら楽しく運動機能を高め、「寝返りができるようになった」「一歩踏み出せるようになった」といった小さな成長を積み重ねていきます。ご家族には日常でできる関わり方をアドバイスし、一緒にお子さまの発達を支えていきます。

「病院に通うのが難しい」「退院後の生活に不安がある」「子どもの成長を少しでも後押ししたい」そんな時は、ぜひ私たちにご相談ください。医師やケアマネジャー、学校や福祉機関とも連携し、ご利用者さまとご家族が安心できる在宅生活をトータルで支えます。



訪問看護は、医療の安心と生活の支えを同時に届けるサービスです。私たちの願いは、ご利用者さまとご家族が笑顔で日々を過ごせること。そのために、一人ひとりの想いに寄り添い、チームでサポートしてまいります。

小さなお子様からご高齢の方までお気軽に
調布訪問看護ステーション 042-443-9765 までご相談ください。

